

# 西国巡礼慈悲の道

西国第二十四番

紫雲山

中山寺

## 音を観る

長老 村主康瑞



観音菩薩への信仰は、インド、チベット、中央アジアを経て、中国全土に広まりました。それは仏教哲学そのものの考え方より早くに広まりました。それは観音妙智力は、よく世間の苦をのぞき、楽を与えるという、私たちの日常的な願いをかなえるというまことに生活に密着した菩薩であるということから来ていると考えられます。菩薩とは自分が如来となって完全に仏

(如来)に成るために種々の誓願(ちかい)を立て、それを自分の行(修行)としていく方々であります。ですから、観世音は世間の音(願い)を観(みる)じてその人によかれと思われ願いをかなえて下さるのであります。ですから私たちは観音を念じ、観音の名を口にして、その力をいただいて来たわけでありま

補陀洛山と言いつつ中国では浙江省の舟山市が有名で、そこに至る道を中山道と言いつつ、それが当山の名称になったと考えられます。観音信仰が中国から、又は朝鮮半島から一般民衆の切なる願いと伴に日本に渡来し天平奈良時代には人々のよりどころとなって、またたく間に広がったのも、世界共通の人々の願いである災いや厄難、災害をのがれ、福寿をいただき健康で正しい生活をおくる上で必要な様々な思いや願いを成就して下さる事を生活の友づえとして来たからでありましよう。私たちの小なる日常の願い(小願)はやがて人類不変の大なる願い(大願)となって世に広が

ります(遍満)。世に生きる日々は様々な事柄が交わり合いますので、それと同じ数の楽しいことやつらい事が起こります。それらを整え慈しんで下さるのが観音慈悲そのものと言ってよいでしょう。いかに世が進み、科学が発展しようとも私たちの願いや思いは常に念じること、観世音を思う、この方が強くなったのもいものであります。



西国第二十四番

なかやまでら  
紫雲山 中山寺(中山観音) 真言宗中山寺派大本山

御本尊／十一面観世音菩薩 開基／聖徳太子

のをもすぎ さとをもゆきて なかやまの  
てらへまいるは のちのよのため



### ✳️ 主な年中行事 ✳️

- 1月1日～3日 大般若転読修正会
- 2月3日 星祭節分会
- 2月16日 えんま天供
- 3月第1日曜日 梅まつり
- 4月第1日曜日 無縁経大会式
- 5月5日 子どもまつり
- 6月15日 青葉まつり
- 8月9日 星下り大会式
- 旧10月亥の日 亥の子地蔵まつり
- 10月15日～11月30日 七五三まいり

### ❁ 観音風光 ❁

ご本尊の十一面観世音菩薩は毎月18日に開扉され、安産・求子の観音さまとして信仰を集めています。長く子宝に恵まれなかった関白 豊臣秀吉公も祈願を行い、秀頼公を授かりました。現在の伽藍は秀頼公が感謝の意を込めて再建した桃山時代の仏堂建築群です。戌の日には安産祈禱会が行なわれ、全国各地から訪れる参拝者で賑わっています。

### ご詠歌の意味

いく度となく、野山や村里を越えて、はるばると中山の御寺にお参りさせていただきました。世の人たちが最後にたどり着きたいと願うことは、観音さまの御手に救われて、西国浄土に赴くことです。

〒665-8588 兵庫県宝塚市中山寺2丁目11-1

TEL 0797-87-0024 <http://www.nakayamadera.or.jp>

納経時間 午前9時～午後5時

西国三十三所礼所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。